六日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵　　税 金十五錢
□一 部 賣 金 三 錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜 報 欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話(平) 七八六番
□振替口座東京一〇八五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城每日新聞社
發行編輯兼印刷人 森 合 英

香典の制限問題

武藏山人

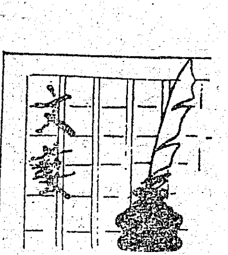
新体制に即し、生活刷新の第一問題として、市内の各隣組を始め區内會、市常會などで取上げられたのは冠婚葬祭等交際案であつた。この内でも冠婚の儀は定まらず、葬儀のみ最も嚴格?に論議され、結局お悔みは「五十錢」と決定したやうである。然しこの全市的申合せが果してどの程度に實踐されてゐるか甚だ疑問とする處である。

實際斯う述べてゐる自分も甚だ申譯無い次第ながら舊体が抜け切れず、組内の佛事以外は定めの五十錢以上お供へしてゐる狀態であり、市役所の主腦部も實行してゐないさうだから、行ふ者が結局恥を掻くと云ふ始末。これでは何時まで經つても舊体の改善が希まれない。

そんなら何故五十錢が實行されないか?謂ふまでもなく生活費の增嵩から比較して五十錢は尠なきに失するのではあるまいか。〃お返し〃が完全に廢止されてゐる今日、制限を徹廢しても馬鹿氣た金額を供へるとも思はれず、制限額を組內五十錢、他は一圓位に認めてもよいと思はれる。

飯野村荒川の草野又三郎氏組內は、昔も今も變りなく組内に不幸のあつた場合、組員は「米一升と現金一圓宛持寄つてお手傳ひをする」ことに成つてゐるとのこと。佛事の香典は相互扶助の建前から生れたものであつて、元來お手傳ひするのだから、見得を張つて多く供へる必要もなし尠きことが却つて禮を失することになりはしないか、五十錢一率に制限は尚一考を要する問題だと思ふ。

今日最も必要なのは文化教養の低い國民層を生活意識の善き指導を通じて文化的に高めてゆくといふ仕事である（間宮茂輔）



長生きの話

（七）

松村亭

不老長生藥と云つても用ひ方が惡かつたり量を過したりしたために却つて生命を損した人も少くない。昭和七年に死んだ白井光太郎博士の如きはそれで、自ら處方した「天雄散」の中の烏頭（トリカブト）による中毒死である。昔の延壽屠蘇散には烏頭が少し入つてゐたので中毒する人が多かつたが今日は用ゐないから害は無くなつた。田中香涯氏によると漢代では錬丹を服用して神仙たらんことを求める風が流行したが却て之が爲に中毒した者が多かつた證據には古詩十九首の中に「服食求神仙、多爲藥所誤」とあるを見ても明らかであると云つてゐるこれで見ても不老長壽の藥等云ふものにはあまり當てにならぬものが多いばかりでなく害になるものさへある事が判る。だから不老長壽の法はやはり主として生理的因子に之を求めねばならない。

大体生物の壽命と云ふものは自由に延ばしたり縮めたり出來るものではない。それは次のやうに前以て定つてゐるからである。

第一に人間は宇宙を超越する事は出來ない。地球上の他の生物と同じく色々な理學上の原理に支配される。第二に時間を超える事は出來ない。人間が此の世に出來てから四十五萬年で此の間には色々な進化の過程があり現在も進化は續けられてゐるから老人から逆に青年になつたりする事は出來ない。第三に人間の悲しさで生物學的に決つてゐるから象だの龜だの他の生命の長い種類に變る事は出來ぬ。第四に個体として色々な遺傳等によつて決つてゐる。第五に生理學的に絕えず新陳代謝が行はれてゐて皮膚等は表面から次々と死んで下から新しい細胞が生れてくる。つまりいつでも部分的の死と部分的の生がある。これを止める事は出來ない。

以上の樣に色々な條件で定つてゐるから生物の壽命を「條件づきの壽命」と云ふ事が出來る。これは丁度自動車や飛行機のやうな機械に「何年間だけ使へる」と云ふ保證がある樣なものである。こんなわけで見樣によつては、人間の壽命は生れ落ちる時に大体決つてゐると云へるかと思ふ。人間の自然死にはアードレル氏の遺傳說と云ふのがある。これは人間には色々な致死遺傳素があつてその強弱多寡によつて生物の壽命が定まると云ふ。從つて生物をあまり長生きさせない遺傳素もあるし、その反對もあるわけであるが生物を短命に終らせる遺傳素としては「血反病」とか胎兒の「象皮病」胎兒の「多發性骨折」等があつてまだ姙婦の腹の中にゐる內に死んで了ふものがある。その外「網膜膠腫」とか「黑內障性痴呆」「惡性雀班」「脊髓性進行性筋萎縮」等も人間を早く殺して了ふ遺傳病であると云はれる。

海

（四倉）紫涙

磯波もぬるみて來てか石面の海藻はいとゞ色まさり居ぬ

寄する波のすきねらひてはとび〳〵てましらの如く越ゆる快適

藥師寺のかへり夕汐せまり來て磯づたひつゝ靴はぬれたり

連續講談

異説赤穗浪士

桃川若燕

城木喬 畫

（141）

名奉行の情け

『越したにしては變だな、木戸木戸に役人が詰めてゐるしえらい人ぢやが』

不審に思つた了山、牛町ばかり行き過ぎて煙草屋へ

『御免よ』

若い內儀さんが出て來て

『ハイ、お出でやす』

『三十二文の莨をおくれ』

『ハイ』

『ちよいと御寮人さん、訊きたい事があるが……』

『何でおます』

『此の先の天野屋と云ふ家が戸閉めになつてゐる。又木戸木戸に役人さんが詰めてゐるが、一体何の事や』

『貴方此の騒ぎを御存じないので……』

『私は知らぬ』

『利兵衛さんの家の騷動と云うたら、えらい事でおます、謀叛人に賴まれたとか云うて、天下御法度の品、おこしらへやはつて、御召捕になつて、松野河內守様のお調べを受けてゐなはる。そのためにな、牢問ごう問がえらい烈しいと云ふ事、戰ひが何處ぞで始まるやら、どこやら火事が始まると云うてな、それがため盛り場〳〵はまるで水を打つたやうでおます、何稼業も皆手がつかずお役人さんが、諸方へ手配りをして嚴重にして居ますんや、評判のいゝ天野屋さんでおましたがな……』

『ウーム』

『それに可哀想なのは、芳松さん云ふ坊やでおますぜ、母さんは離緣されて居ないと云ふ、えらい下手なお醫者の娘さんとかいうてな』

『ハーア』

了山が驚いた。これでは成程病人が來ない譯だ。

『坊ちは地守の太郎兵衛はんのところへ預けられてゐますけど、夜もちつとも寢やせん、母さんに會ひたい、父さんに會ひたい云うて、小さな姿をして布團の上にちよこなんと坐つて泣いてばかり、太郎兵衛はんも貰ひ泣きしてゐると云ふこと……』

『いゝア天野屋と云ふのはそんな惡い奴か、ウーム……イヤ大きに……』

『貴下三十二文置いてきなはれ』

『アヽ、然うか、莨を持つて行つて錢だけ忘れた』

了山急いで我家へ戻つて來た。

『おその今歸つた』

『お歸り……』

『アヽ豪いこつちや、お前が離緣になつたとは間がいゝ、私も助かつた。よかつたな。危いことだつた。大難が小難と云ふが離緣してよかつたぞ三百兩の金を持つて來たゞけ間がいゝ、つながつてゐたらどないな目に會ふか判らぬことぢや、お父さん一人で喋つてゐて何んの事……』

『實は天野屋の家の前を通りかゝつたのぢや』

『オヽ利兵衛さんは達者でござんしたか』

『さあその利兵エが大變ぢや實は斯々是々、唯可哀想なのは私の爲めに孫に當る芳松、地守の太郎兵ヱとか云ふ人の所に預けられて夜も寢ずに利兵衛に會ひたい、母に會ひたいと云うて泣いてばかりゐるさうぢや』

『エヽツそれでは利兵衛さんは……』

『おその泣いてゐても仕方がない、マアお前の運が良かつたのだ』

『イエ利兵衛さんに限つてそんな惡い事をしなさる方ぢやアございません、それは永い間側にゐた私がよく知つて居ります、それは何かの間違ひでございませう』

『それが夫婦の情で亭主の惡い事が分らぬのぢや、又それ程大事なことは女のお前に打ち明けるものぢやアない』

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三丁
安積中學より五丁
郡山市外 大槻村針生
（電話九二五番）
福島縣立代用精神病院
內務省指定 郡山腦病院
院長醫學博士 金磯五郎
▽入院隨時△

小兒科
內科
◎入院隨時◎
平市南町（電五五番）
酒井醫院
醫學博士 酒井保

內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五一二番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

口腔外科
齒科一般
植田町（電話七一番）
齒科 森合醫院
院長 森合芳男

病室增築、手術室完備
產科
婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

外科一般
內臟外科
性病科
肛門病科
▽入院應需△
平市南町（警察署通り角）
外科 木村醫院
木村淳
電話三〇九番

附屬產院 新設
姙產婦入院隨意
產科 婦人科
木村病院
平市新川町
電話一六四番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電 九・九九

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635呼）

トンカツ
とんかつ專門の店
平市仲田町
かの家
電話四六五番
出前は迅速におつとめ致します

故障の起らぬ
AKA
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD-8號 微電界級　MS-100號 微電界級
ダイナミツク
使用眞空管 マツダ 12F 47B 57 58
使用眞空管 マツダ 12F 47B 57 58
㊫¥.73.70　㊫¥.52.60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り（電呼166）

磁氣治療開業
マグネタイザー適應症
◎高血壓 ◎胃腸病 ◎蓄膿症 ◎痔疾患 ◎中風病 ◎脚氣 ◎泌尿 ◎心臟病 ◎神經痛
◎生殖器諸症 ◎カリエス ◎呼吸器病 ◎婦人病 ◎小兒虛弱體 ◎ロイマチス ◎ゼンソク ◎其他諸症治療
治療所 平市田町 シンガーミシン會社二階
平磁惠院 物理治療

△入院隨時▽
エツキス光線科
外科、內臟外科
平市田町 電五四七
安齋醫院
院長 安齋徹

外科、內臟外科
肛門病、皮黴科
泌尿生殖器科
專門
〔看護婦及見習看護婦募集〕
平市鎌田町 電二七九
白土醫院

內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
平市大町 電一一八
外科 內木醫院
醫學博士 內木宗八

耳鼻科
咽喉科
▽入院應需△
平市紺屋町 電六五一
增田醫院
醫學博士 增田之

平市紺屋町 電話六八番
吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄

外科（內臟、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
平市南町 電一二九
上田外科
院長 上田耕作

產科、婦人科
〔見習看護婦入用〕
平市田町 電五五九
井坂醫院

耳鼻科
咽喉科
專門
〔入院隨意、病室完備〕
平市南町六 電話一七〇番
大和田醫院

眼科專門
眼鏡檢定
平市 眼科 重田醫院
前驛

內臟外科
整形外科
レントゲン科
松村醫院外科部（平市南町）
松村外科
醫學博士 松村亭

皮膚科
泌尿器科
性病科
平市田町 電六九一
江尻醫院
江尻伊三郎

郡農會も時局に對應
食糧增産確立
明年豫算四萬五千圓承認

石城郡農會の明年度豫算並に欠員中の會長選擧を行ふ總會は前日の評議員會に引續き六日午前十時から平市團体事務所に開き今年度豫算四萬五千八百二十圓を異議無く承認した、これを前年度豫算に比較すると一萬四千四百五十六圓の大增額を來し食糧增産に全面的に力を注いでゐる增額した主なるものを擧げると獎勵費七千五十圓、補助費六千四百二十九圓で明年度の事業概要は次の如し

1、技術員設置、專任並に囑託技術員を設置し食糧增産指導に當らしめる

2、講話講習會、農事の改善と食糧增産に資し農村中堅人物を養成する

3、採種圃設置獎勵、品種改良の目的で農試分場より原種を受け町村農會に採種圃設置獎勵

4、品評會獎勵、各町村に品評會を開き食糧增産を獎勵する

5、表彰、役職員の功績あるものを表彰農會の活動を促す

6、自給肥料獎勵、統制肥料の不足を補ふため自給肥料增産を獎勵する

7、養兎獎勵、兎毛皮の品質向上を圖るため種兎を交付事業改良發達に資す

8、稻病害豫防獎勵

（以下略）

新郡農會長に
古川傳一氏 就任

別項、郡農會長問題は農會職員其の他思ひ切つた改革を斷行し得る人物を選任すべしの聲高く古川傳一氏を推薦する空氣濃厚だつたが『永く副會長の席にある金成淺治氏をこの際昇格して勞に酬いるべし』と人情論も出たが銓衡委員八名を擧げて協議の結果滿場一致古川傳一氏が當選した、新任の古川郡農會長は慶應義塾に學び町內自治に貢獻する處大きく現植田町長の要職にあり、鮫川江筋の完成には心血を注ぎ農事に盡した功績は何人も認める處で、食糧增産に郡農會の指導的立場が愈々重要性を加へた今日革新的な古川會長の就任を見たことは大きい收獲であらう

公立中等校巡り
(6)
卒業生中の異色は
板垣中將夫人
（六）磐城高女の卷

卒業生の行方

磐女の第一代の校長さんは長岡恒喜氏で福島高女から來任された。明治四十五年四月の生徒數は一年から四年迄合計二百四十一名であつた。第二代の校長は池上文麿氏、福島師範から來任された。

定員は大正九年六百名となり、十四年八百名、昭和十年千名となり、今度は千二百名となるわけで全國でも稀な學級數となるのである。

卒業生の行方を調べて見ると三千七百余名の中で現在平市にある者二百五十七名、郡下二千三百二十六名、他府縣四百十三名、茨城縣百六十一名などが目につく。茨城縣が多いのも面白いし、他府縣の多いのは官公吏軍人等の月給取にお嫁になつてゐる事を物語つてゐる。これを在學生の出身地別と比較して見ると興味ある問題だ。ただしこの數字は學校の調査であるから實數はもつと他府縣在住が多いと見るべきであらう。

卒業生中の異色を拾つて見ると先づ第一回の箱崎ギンヨさんであらう。この方は私立女學校時代の卒業生で女子醫專に入るため更に縣立高女四年に編入、資格をとつた方で始め內鄕の磐城炭鑛の病院に勤務されてゐたが現在は本縣衞生課の高等官技師である。次は第三回の板垣中將閣下の令夫人となれた大越中佐の遺兒喜久子さん、それから第二回の大杉事件で有名な甘粕大尉の夫人となられた服部ミネさん、この方は女子大の英文科をやられ服部宇之吉博士の何かださうである。このお三人が磐女の卒業生中で異色の最たるものであらう。その他調べたらまだ相當にあるであらう。

入學者のために

一体女學校の生徒さんになるのには學資がどの位かかるものか。首尾好く入學を許可されると先づ……校友會入會金二圓、授業料四圓。それに旅行貯金一圓、校友會費四十錢計七圓四十錢を學校に納めねばならぬ。それに教科書代十一圓は目に見えるお金でノートその他の學用品、少しは服裝もとのへてなどと氣を配ると五十圓前後にはどうしてもなる。學校では通學生年九十九圓、寄宿生二百二十四圓余と數字を示してゐるが是は標準で是よりも二割以上は多くかかるものと思はねばならぬ。校長先生は次のやうに語つてゐる。

『本校に來るものは眞面目に落着いて來てほしい、家庭的な名譽や地位なんかを考へないで單なる一人の生徒として素直に教育を受け入れてくれる態度で來ることが望ましいとである。』

磐女にはピアノが五つある。それから映畫教育に就いては正木校長は先覺者で昭和三年福岡市の學務課長時代に既に之に着目して研究されたといふことで、この設備がある。こんな好い學校であるから志願者は例年殺到し昨年は六百六十四名の志願者があつた。さて今年は三百名の採用に幾名の志願者があることやら志願者の小さな胸は戰く。（完）

奉祝地久節
學校・婦人團の催し

今六日地久節の佳節を迎へた平市では三萬五千市民等しく皇室の彌榮を祈願申上げ一方愛婦並に各學校では次の行事を催し　皇后陛下の御安泰を御祈願申上げた

◇愛國婦人會

午前九時全會員二千余名が縣社子倉鍬神社に參集、陛下の御安泰並に報國の念を深むるため〃婦人報國祭〃を神前に催した

◇磐城高等女學校

登校時刻午前八時二十分から拜賀式を開く

◇第二小學校

全生徒を校庭に集め校長の訓示あり各受持訓導から講話

◇私立女子關係學校

佳き日を奉祝して休校、自肅の一日を送る

星一代議士が
藥學專門學校設立計画
新學期に開校準備

代議士星一氏は星製藥株式會社の星商業學校を藥學專門學校となすべく三百萬圓の財團法人として設立準備に着手、專門學校令による認可方を文部省に申請中であつたが右に對し主務省に於ては同校舍に當てられる東京市大崎町の前記星商業學校に係官を出張せしめ設備並に資金關係等につき詳細な調査を完了したので近く認可の指令を發せられる模樣である

同校では引續き準備を急ぎ文部省の認可あり次第最初の生徒募集を開始し來る四月から開校の豫定を以て同校資金の一部に充てる爲め「敎育勅語」の掛軸を地方有士の希望に頒付してゐるが時局から殊に生産擴充を叫ばれ化學技術者の拂底に惱む現下に於て同校の設立を企畫されたる星一氏の雄圖を喜ばれ其の出現に對して關係方面から多大な期待をかけられてゐる

內示會を略し
豫算市會八日招集

平市明年度豫算市會は新体制で從來の市會內示會を撤廢し八日招集することに正式決定し五日午後市會議員へ通知を發した、當日は青沼市長の豫算編成に關する總括的說明があつて豫算案審議の爲休會する模樣である

提出案件

一、昭和十六年度平市歲入歲出豫算ノ件
一、昭和十六年度特別會計公益質屋歲入出豫算ノ件
一、昭和十六年度特別會計基本財産歲入出豫算ノ件
一、市費補助ノ件
一、小學校基本財産運用金戾入方法變更ノ件
一、國民學校建設費起債ノ件
一、商業學校增築費起債ノ件
一、有給吏員定數規程中改正ノ件
一、納稅奬勵規則改正ノ件
一、公賣規程設定ノ件
一、區長、代理者辭職認定ノ件
一、區長、代理者推薦ノ件
一、寄附採納ノ件
一、昭和十四年度平市歲入出決算報告ノ件
一、昭和十五年平市事務報告及財産表ノ件
一、昭和十四年度特別會計公益質屋歲入出決算報告ノ件
一、昭和十四年度特別會計基本財産歲入出決算報告ノ件

兵長篠山榮之進君
今日壯嚴裡に市葬執行

平市月見町出身故篠山榮之進兵長の市葬は六日午後一時から平市公會堂で祭主青沼市長始め久和平警察署長、關內警防團長、蓮沼縣議並に市會議員、鄕軍、婦人團体その他各種公共團体學校長等多數列席壯嚴裡に執行した

篠山兵曹長は高等小學校から指物屋さんとなり一昨年出征以來北支方面で各地の戰鬪に武勳を樹て、不幸病ひに斃れて野戰病院に收容され病歿するに至つた

消費の激增に備へ
煙草耕作奬勵
過剩品は外貨獲得に

專賣局平出張所管內十六年度煙草耕作は約四百町步で面積の割に耕作地が尠なくこの耕地から産出する煙草では到底同管內消費量に比して自給自足が出來ず爲に移入に待つより途ない始末なので出張所でもこれに對處煙草耕作を極力奬勵してゐる管內の消費量は既報の如く增加の一途を辿り前年に較べ全体的には三割、需用の少ない〃刻み〃でもキセル黨がグンと增して二割と云ふ驚異的數字で同所では各農村を巡回して煙草耕作の必要性を說得に努めてゐる

先づ肥料は特別配給で心配なく又補助金、賠償金等も交附され一般農作物よりは好條件附きで地方では桑園と混合耕作を行つた結果豫期以上の成績を收めた實例もあり荒廢桑園の利用なども試みれば相當の成果は期待出來る、又地方の煙草自給自足策が成れば更に增配を圖り生産過剩で相場の下落なども心配全然なく輸出品として外貨獲得に振り向けるから反當りの收穫率も相當期待出來ることに成る譯である

專賣局弓道場
希望者に開放

專賣局平出張所ではこの程所員の体位向上を圖るため弓道場を新設したが一般希望者に開放するから同好の方は振つて來場されたいと

小山田氏圍む
送別短歌會
九日谷口樓に開く

昨報、入山炭礦本社總務部長に榮轉する歌人小山田滋氏の〃送別歌の會〃は特に親交の深かつた五十嵐雄二、高久忠、新妻久滿夫氏等發起で九日午後三時から谷口樓に開くことに決定した

當日は各々隔意なく石城地方の文化問題や小山田氏を中心に文藝を語り、短歌會を催す豫定で同好の士は八日までに本社文藝係まで申込まれたい

戶籍事務研究

平方部戶籍事務研究會は九日午後一時から市公會堂日本間に開き來月二十五、六兩日若松市に開かれる事務聯合協議會に提出する事項について協議する

國婦、愛婦で
慰問袋發送

兼ねて市並に國婦、愛婦が主体と成つて募集中であつた慰問袋はこの程〇〇〇個に纒つたので六日仙臺恤兵部宛に發送した

部落農業團体
促進懇談
昨五日公會堂に開催

縣及縣農會、産業組合中央會福島支部共同主催部落農業團体促進講習懇談會は平市並に石城郡農會、産業組合關係者約百名が參集、縣農會から講師橋本一二技師外一名が來平五日午前九時から公會堂日本間に農事實行組合の整備强化を協議した、同組合の强化整備は主要食糧增産計畫に對處、その遂行を目的としたもので組合の地位、使命、本領、組織事業、活動、事業分擔等に再檢討を加へた

小山田滋氏
送別短歌會

期日　九日午后三時
場所　谷口樓
申込所　磐城毎日文藝部
發起人　高久忠
五十嵐雄二
新妻久滿夫

揚繰船から
機械盜まる
四艘分三千余圓

四倉町仲町揚繰網長谷川西次郎所有船不動丸並に同町石井鐵三郎所有船四十八社丸の共同揚繰網漁船が同港內に碇繫中昨五日夕刻より今朝午前六時頃迄の間に各船の發動機用ピストン四個價格三千余圓が竊取されてゐるのを機關士が發見、四倉署では犯人搜査に努めてゐる

國防馬事大會へ
〃五月號〃出場
神谷村林伊平氏の愛馬

農林陸軍兩省主催四月七、八兩日東京代々木練兵場に開催する國防馬事大會に本郡を代表して神谷村五月號が參加することに決定した

五月號は同村林伊平さんの愛馬で五才の駿馬、軍用保護馬に指定され昨年九月十八日平工業敎地で開かれた郡內鍛錬競技會並に同十月六日郡山市に開かれた縣下競技會にも出席優秀な成績を收め今回縣から推薦され晴れの〃興亞馬事大會〃に出席することに成つたものである

寒波を克服
潛海みそぎ
四倉海岸で七日擧行

皇運扶翼會石城支部の一夜講習會は助川代議士、八角中將を迎へて今六日午後六時から四倉小學校に開き明七日は午前七時を期して全町海岸にて潛海禊を擧行するが參加者は百余名である

銃後の赤誠
坑夫さんが給料獻金

赤井村大字赤井字大倉八宮炭鑛從業員が結成する互助會一同は給料を割いた十五圓を又同會講師中村作治氏は二十圓をそれ／＼六日平署を通じ陸軍恤兵部へ獻金した

類燒者へ
見舞金贈る

四倉町仲町製材業高木菊之助氏工場の火災で類燒した松本幸助氏に對し火元高木氏は見舞金として金百圓を贈つた

四倉鄕軍分會
記念日の計画

四倉町在鄕軍人會では十日の陸軍記念日に午前九時諏訪神社に出征軍人の武運長久祈願祭を擧行し終つて戰病死者の墓參、忠魂碑參拜をなし午前十一時より小學校日本間にて歸還兵の座談會を開催する

小名濱雜信

◇小名濱常會、小名濱町では町常會を三月十日第三回目を開催する

×

◇百圓寄附、石城郡油類商組合では小名濱銃後奉公會へも金壹百圓を寄附した

×

◇團服調製、小名濱町警防團では共濟會基金並に團服調製資金募集の爲め七日本部へ幹部が集合し基金募集方法を協議！即日より募集に取掛るが共濟會基金は三千圓の豫定で外に團服費も相當金寄附を仰ぐ豫定である

×

◇海上防空講習、小名濱町では三月十一日講堂に於て海上防空講習會を開催するが全漁夫並に關係業者も參加講習を受ける筈である

獻金

平市田町小齊實君は豫科士官學校入學記念として金十圓を五日市役所を通じ陸軍恤兵部へ獻金

◇

夏井川改修事務所々員一同は勤勞奉仕して得た金十圓を五日陸軍恤兵部獻金方を市役所へ寄托した

商況
（六日）

【野菜】

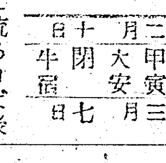
	高値	安値
葱	一八	一五
人參	二二	二〇
油菜	八	五
ホウレン草	四五	三五
牛蒡	四〇	
里芋	五五	
馬鈴薯	四五	
大根	一三	八
白菜	二八	
大和薯	三〇	

【鮮魚】（錢單位）

アンコ百匁	六、〇
マツカハ	一一、二
頰刺	一一、〇
賁蛸	二八、八
ドンコ丸干	一一、〇
ドンコ開干	一六、〇
タラの粕積	二二、〇

天氣豫報

今晚　北の風晴
明日　朝の中北の風日中南東漸曇後本曇



舊二月十日
金曜　甲寅　大安　閉　牛宿
新三月七日

▲一白　華美に流るれば後の苦痛を增すべき日注意
▲二黑　一時の苦難を通り拔ければ安心の域に入る
▲三碧　善き分別も浮ばず處置に苦しむ日病難注意
▲四綠　手を引連れて互に助け合ふやうするが安全
▲五黄　收支に目を配りて油斷なければ吉日となる
▲六白　辛棒の棒の太き程幸福も大となる有望の日
▲七赤　無理をせざれば盛運を有つ起業金談普請吉
▲八白　前途に光明を認むる日名弘開店緣談等に吉
▲九紫　反抗心を起さず上下の交りを深うするに吉

快適な筆觸
ウエル萬年筆
金貳圓より數十種

佐々木のガラスペン
一本金拾錢より
ガラスペン中の第一級品です、一度の御使用が永久の御愛用となる事請合

代理店
魁文堂
平市學校坂下
電話三一三番

ハーモニカ
手風琴 初めました
何卒御用命下さい

有名一流品
シユーベルト
ミヤタバンド
トンボハーモニカ
日本ハーモニカ
少年バンド
代用品で有りません（公定價格）
◎二圓以上には……歌集帳を差上げます
慰問品…入學進級御祝に…最適

靴と運動具の
大塚へ
平市田町銀座通り
電話七十七番

姓名新體制

鶴沼孝昌

生活は一年毎に深刻になつて世の中がます／＼住みにくゝなり、人生の眞の歡喜と安心とは、更に見出せなくなつた。

此生活に懊惱したり、先輩の無理解な壓迫に苦んだりして、それから全く逃れ切れないのや、また病難に遭遇するのは、一面からみれば自分の運命の道筋を知らないからさもなくば自分の運命に逆ふ人であるといへよう。

それを早くも、名が惡いと感付いて改名して用ゐたならば、禍が身に迫る時は、體を變して之を避け、幸運が來る時は、その機會を巧に捕へてその人としての最大幸福な生活を送り得ることは姓名統計に表はれてゐる。

この自分の運を知る振出しは先づ己の名を知ることである。

宜なる哉、德川家康は、幼名を松平竹千代と云ひ、元服して松平元康となり、廿五才の時、德川家康と改稱す。元康を二ヶ年間使用して、今川義元の人質を脫し、家康となりて天下に覇をなすに至るこれ元康、家康の改名よろしきためである【廣告】

皇運扶翼會の
『時局座談會』

御來聽歡迎

三月十日夕六時
平市公會堂日本間

皇運扶翼會は〃天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ〃の御勅語を體して皇道精神を振起し緊迫せる非常時局に對處する臣道實踐の國民運動を說き、修養團体として社會に稗益するところ頗る大きい。本社はこゝに思ふところあり同會の福島縣結成準備會長助川啓四郎代議士を招聘『時局座談會』を開催、大方諸彥多數御來聽を歡迎致します。

講師　助川啓四郎先生

主催　磐城毎日新聞社